

ローカルファンド研究会IN西条の目指すもの ～持続可能な豊かな未来を創るために！～

【西条市まちづくり円卓会議(仮称)】

まちづくり市民会議の方々を中心に、市民・事業者・行政・専門家・学生等が幅広く参加し、西条市の2030年ビジョン等の将来像を描き出す作業を行い、その実現に向けた課題抽出や政策提言を積極的に行う。

ローカルファンド研究会 IN西条
(西条市まちづくりマップ！の作成等を通じて)

【一般財団法人 西条うちぬき未来基金(仮称)】

地域金融機関、志民、行政、PSIや諸団体等が連携し、西条市の将来ビジョン実現に向けた活動に必要な多様な資金調達と仕組み作りを構築し、支援を実施していく。

持続可能な社会に向けたパラダイムシフト①

■ 持続可能な開発目標 (SDGs) の採択

- 2015年、国連総会でSDGsが採択。
- 2030年の世界目標。17ゴール、169ターゲット。
- SDGs達成には、**環境・経済・社会の統合的向上**が必要。

■ SDGs達成に向けた日本の取組

- 2016年、「**SDGs実施指針**」を決定。
- 2017年、「SDGsアクションプラン2018」を決定。
- 自治体・企業でも、SDGsの取組が進展。

SDGsの17のゴール



資料：国連広報センター

「SDGs実施指針」の8つの優先課題

①あらゆる人々の活躍の推進 <ul style="list-style-type: none">■一億総活躍社会の実現 ■女性活躍の推進 ■子供の貧困対策 ■障害者の自立と社会参加支援 ■教育の充実	②健康・長寿の達成 <ul style="list-style-type: none">■薬剤耐性対策 ■途上国の感染症対策や保健システム強化、公衆衛生危機への対応 ■アジアの高齢化への対応
③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション <ul style="list-style-type: none">■有望市場の創出 ■農山漁村の振興 ■生産性向上 ■科学技術イノベーション ■持続可能な都市	④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備 <ul style="list-style-type: none">■国土強靱化の推進・防災 ■水資源開発・水循環の取組 ■質の高いインフラ投資の推進
⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会 <ul style="list-style-type: none">■省・再生可能エネルギーの導入・国際展開の推進 ■気候変動対策 ■循環型社会の構築	⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全 <ul style="list-style-type: none">■環境汚染への対応 ■生物多様性の保全 ■持続可能な森林・海洋・陸上資源
⑦平和と安全・安心社会の実現 <ul style="list-style-type: none">■組織犯罪・人身取引・児童虐待等の対策推進 ■閉鎖構築・復興支援 ■法の支配の促進	⑧SDGs実施推進の体制と手段 <ul style="list-style-type: none">■マルチステークホルダーパートナーシップ ■国際協力におけるSDGsの主流化 ■途上国のSDGs実施体制支援

資料：持続可能な開発目標(SDGs)推進本部

持続可能な社会に向けたパラダイムシフト②

■ パリ協定を踏まえた世界の脱炭素化

- パリ協定の「2℃目標達成」のため、**21世紀後半の温室効果ガス排出の実質ゼロ**を目指す。
- 自動車政策やエネルギー政策など多くの先進国・途上国が**脱炭素社会**に向けた取組を実施。
- 多数の民間企業が独自の中長期削減目標を設定。金融分野では**ESG投資が拡大**。

■ 気候変動の影響への適応

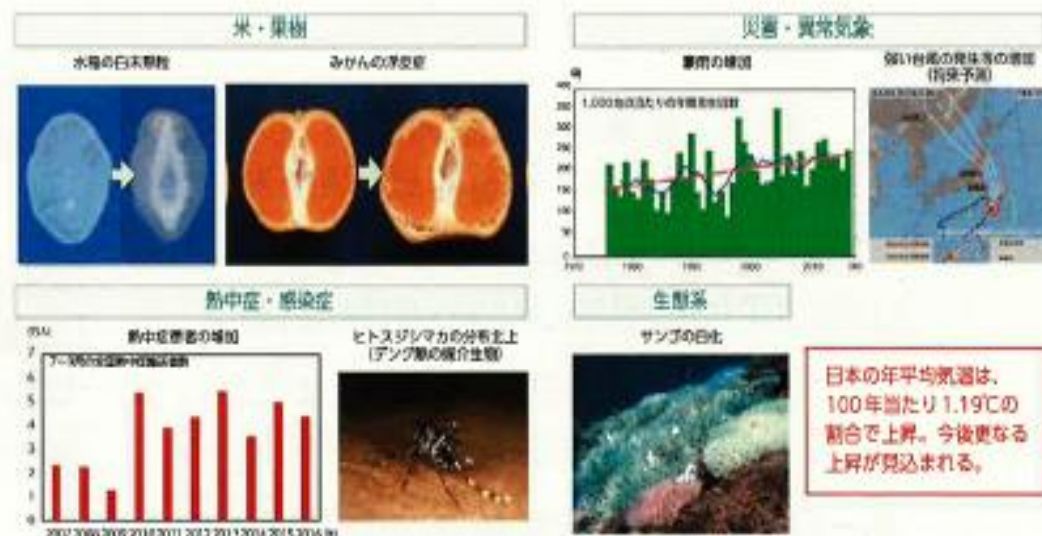
- 異常気象など**気候変動による影響が顕在化**。
- 2015年11月、「**気候変動の影響への適応計画**」を閣議決定。
- 「気候変動適応情報プラットフォーム」や「地域適応コンソーシアム」を通じて、自治体等を支援。
- 2018年6月、「**気候変動適応法**」が成立。

COP23閣僚級セッション
中川環境大臣ステートメント



資料：環境省

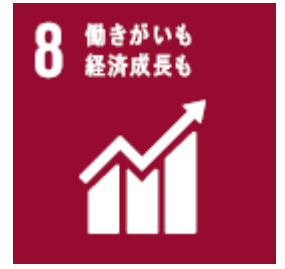
我が国における気候変動の影響



資料：農林水産省、気象庁、消防庁、国立感染症研究所、環境省

新しい金融変革の潮流

～「お金の流れ」を変えて未来を創る！～



世界大での環境制約
(地球温暖化問題)

SDGS金融
ESG投資

サステナブル・ファイナンス



金融変革の実現

地域ファンド
ソーシャルインパクト

ローカルファイナンス



地域創生自立・循環
(森里川海PJ)



未来投資会議での総理指示

平成30年6月4日、安倍総理は、総理大臣官邸で第17回未来投資会議を開催しました。会議では、未来投資戦略2018（素案）及びエネルギー・環境投資を通じた成長の実現について議論が行われました。

総理は、本日の議論を踏まえ、次のように述べました。

「本日は、環境と経済をめぐる最新のトレンドについてお話しいただきました。2012年と比べて、ESG投資は1,000兆円以上増加。グリーンボンド発行量は50倍に拡大するなど、世界の資金の流れが大きく変わりつつあります。



もはや温暖化対策は、企業にとってコストではない。競争力の源泉であります。環境問題への対応に積極的な企業に、世界中から資金が集まり、次なる成長と更なる対策が可能となる。正に環境と成長の好循環とも呼ぶべき変化が、この5年余りの間に、世界規模で、ものすごいスピードで進んでいます。

これまで温暖化対策と言えば、国が主導して義務的な対応を求めるものでした。しかし、2050年を視野に脱炭素化を牽引していくためには、こうしたやり方では対応できない。環境と成長の好循環をどんどん回転させ、ビジネス主導の技術革新を促す形へと、パラダイム転換が求められています。

第一に、**従来型の規制でなく、情報開示・見える化を進めることで、グリーン・ファイナンスを活性化する。**（中略）

こうした方向性の下、パリ協定に基づく長期戦略策定に向け、金融界、経済界、学界など各界の有識者にお集まりいただき、これまでの常識にとらわれない新たなビジョン策定のため、有識者会議を設置するとともに、その下で、関係省庁は連携して検討作業を加速してください。（後略）

西条市での今後の進め方！

○各回のテーマ・時期（有識者講演＋意見交換）

第1回：ローカルファイナンス総論、SIB（5月17日）

第2回：空家活用のまちづくり（8月29日）

第3回：介護福祉・地域包括ケア（10月5日）

第4回：エネルギーによる地域の自立・循環（11月
30日）

第5回：西条高校による研究成果発表（2月）

～また各会合時、「西条市地域づくりマップ」を太らせ、
繋がりを増やし、皆で可視化していきましょう！

～同時に、其々の活動をSDGsに結び付けましょう！

西条市まちづくりマップ

これは、西条市内でさまざまな活動をしておられる人やグループ、団体のうち、西条市事務局が知り得る皆さんの活動拠点をマッピングしたものです。



B

田園エリア

少し歩けば一面の田んぼが広がる開けたエリア。夏には緑色の稲がそよぎ、秋には金色の穂によってまちが染まり、四季の移ろいを間近で感じることができます。



A

まちなかエリア

江戸時代から栄えてきたまちや、駅や幹線道路に近く、新しく整備されたまちのあるエリア。生活に必要なものが自転車や徒歩圏内ですぐ手に入る、利便性No.1の場所です。



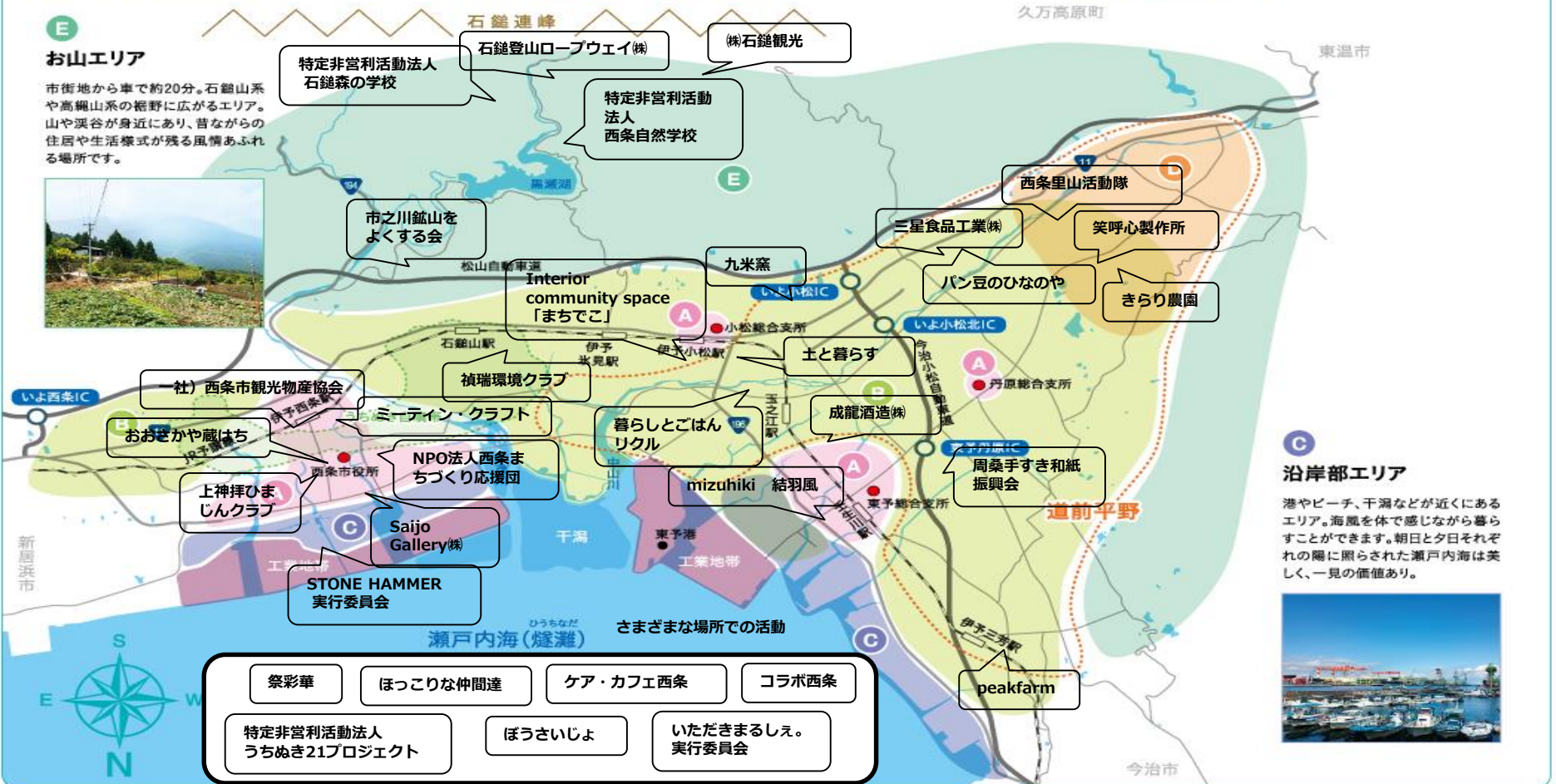
D

里山農村エリア

なだらかな傾斜地で、柿をはじめとする果樹栽培が盛んなエリア。心がほっこりと癒される田舎の風景が一面に広がっています。主に丹原地区あたり。

E お山エリア

市街地から車で約20分。石鎚山系や高縄山系の裾野に広がるエリア。山や渓谷が身近にあり、昔ながらの住居や生活様式が残る風情あふれる場所です。



- さまざまな場所での活動
- 祭彩華
 - ほっこりな仲間達
 - ケア・カフェ西条
 - コラボ西条
 - 特定非営利活動法人 うちぬき21プロジェクト
 - ぼうさいじょ
 - いただきますしえ。実行委員会

C 沿岸部エリア

港やビーチ、干潟などが近くにあるエリア。海風を体で感じながら暮らすことができます。朝日と夕日それぞれの陽に照らされた瀬戸内海は美しく、一見の価値あり。



事業の概要

- (1) 西条市におけるローカルファンドの構築について、幅広く議論及び検討を行い、将来的に幅広い市民参加の下「ふるさと基金」(仮称)の設立を目指す
- (2) 検討の過程で、SIB(ソーシャルインパクトボンド:成果連動型補助金制度)活用等に取り組む

西条市版ローカルファンドが目指すところ

資金調達例

【行政から】

- ・目的別補助金の運営委託

【市民から】

- ・事業指定寄付
- ・投資信託

【事業者から】

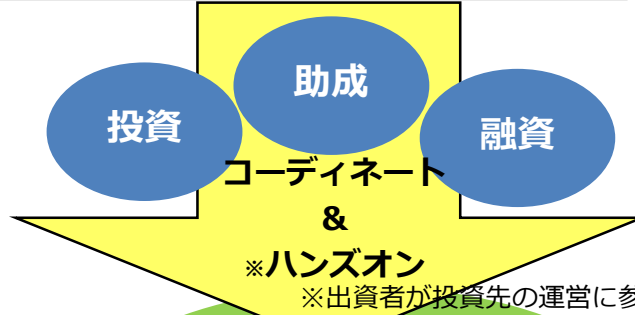
- ・寄付
- ・金融機関の融資、出資

Point: **社会的収益の見える化**
(経済・環境・社会的価値)

Point: **社会的認証(信用)**

西条市ふるさと基金(仮称)

地域課題の解決と地域資源を活用した地域活性化を推進するためのコミュニティビジネス等の支援



★幅広い市民参加、人のつながりが支える地域

西条市の将来像
【人がつどい、まちが輝く、
快適環境実感都市】

★ソーシャルインノベーション

★ヒト・モノ・カネが地域で循環

★産業の新たな流れ
仕事と家庭のバランス
良い暮らし

★豊かで自立した持続可能な地域社会の形成

活用例

●助成

公益活動への補助金
事業指定寄付制度
冠基金による助成制度

●助成+融資

金融機関との協調融資

●融資

コミュニティビジネス支援融資

●西条市版SIB

(ソーシャルインパクトボンド)行政補助金等を成果型へ移行

●地域通貨

人と人をつなぐ交換ツール
電子マネーの活用等

非資金的支援
(中間支援組織と連携)
NPO法人等